

令和3年度 地域住民向け在宅医療啓発映画会 実施報告

在宅医療の普及啓発として、新型コロナウイルス感染症で集合形式開催の見通しがつきにくい中で、令和3年度はオンラインでの映画配信を実施しました。

- 1 開催方法：オンライン上映方式、事前申し込み制
- 2 上映作品：『ピア～まちをつなぐもの～』（2019年、99分）
- 3 配信期間：令和3年11月19日（金）
～11月25日（木）の1週間
- 4 対象：加茂地域一般住民（在住、在勤、在学）、
医療・介護・保健・福祉関係者 等

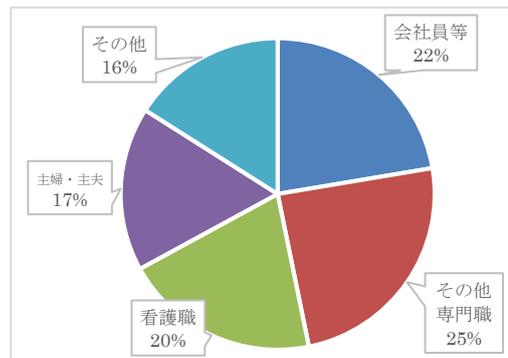
5 開催結果

- (1) 申込者数 : 254名
- (2) 映画再生回数 : 372回
- (3) アンケート回答数 : 94名

① 視聴者の状況

ア 年齢 平均年齢 : 54.9歳 (16歳—87歳)

イ 職業



② 視聴者からの感想 ※アンケート一部抜粋

＝自分の人生の振り返りについての感想＝

・いつか自分が最期を迎える時、自分の思いを伝え、残りの人生を納得できる過ごし方ができたらいいなと思いました。

・最期は施設ですごすことが、よいと思っていましたが、その人それぞれでの選択があると理解できました。良い機会を与えてもらい良かったです。

＝在宅医療の在り方等への感想＝

・在宅医療は医師だけでなく他職種と連携して支援することが、どれだけその人らしく生きていけるのか重要だと認識した。

・病院で働く全ての医療従事者に観てほしい。「その人らしくというのは決定権がその人にあること」が大変よく伝わりました。

＝専門職等の感想＝

・その人がその人らしく生きるために何ができるか、どう生きたいかを叶えるために何ができるかを、考えられるケアマネでいたいと思いました。介護の仕事に携われることはありがたいと思います。

・在宅って、やっぱりいいなあとしみじみ感じました。病院で働いていて、患者さんは家へ帰りたいと必ず言います。でも、家族の介護力不足で帰れないことが多々あります。本人の気持ち無視して施設へ入所するのを幾度となく見てきました。安心して家で過ごせるチームワーク、どこでも受けられたら、本当にいいと思います。